

民主主義の旗

NO26・27合併号
発行所
民主主義学生同盟
全国委員会編集局

(1部10円)

お知らせ

本号は、千六、二十七合併号と
しました。

編集局の願望は月一回フランク
エツト版とし、紙面を充実させ、出
す。

来る限り多くの事を携裁したく思
つていますが、それは醜名諸氏の
協力なしには絶対に実現し得ない
ものです。

実現のための協力を強く訴えま

略を中止させたに至つては、いふまでもなく、日本における、我々の斗いは何よりも佐藤政府に攻撃の力を集中してゐる必要がある。我々の勝利はアメリカ政府に巨大な影響を与へ、我々は国際平和民族解放勢力に巨大な貢獻を成し得るのである。

写真右は六・四全関西は本会六〇〇〇名の学友でつまつた田山公園音楽堂

左はデモ行進した。その後、三百名の学友が五條署に集り、不当に逮捕された学

六・二二、二四
に全国で決起

アメリカ帝國主義による世界戰爭の危機をはらむ中で、のべトナム侵略は一層強化されている。その最大の支柱佐藤内閣は歩を一日に韓調印を二日に果した。こつちの中で、學戰線は夏期休暇を前に六月闘争の集約として六月二十四日を闊いの日とする。なほ、東京、京都では、二四を二に變更、決起した。

日韓——本調印さる

六月十日、京都に開かれた、
「原潜日韓共闘会議」幹事校会議
で、六月十四日を全国学生校行
動として起ることを決定し、
日韓学友会結果を呼びかけた。

対外的には、侵略的帝国主義的
海外侵略、これが佐藤のき進ん
でいる「解決」の方向である。ベ
トナム侵略加担はその用意であ
り日韓条約はその巨大な布石であ
る。しかし、今た停

各大學では平旦スト等での決起をせよとしりくみをははめてゐるが、とりわけ、民青系自治会、諸君の参加が各府学連、自治会、学友から強く望まれてゐる。

は異り、田代の学友が、闘いへの参加を防げてきた街頭極左行動自らのクラスのパラカートを焼つて押しのけ、効果的な主を導つたことである。第三に、全国友の先頭に立つて、統一した運

三度巨大な統一の力

六・四京都集會に六千名結集

アメリカ政府の最大の支柱、戦争と民族抑圧の加担推進佐藤反動内閣はアメリカと手を一にベトナムへ軍隊の派遣を果した、増援を行おうとしている朴軍事独裁政權との間で、十二月一日韓条約本調印をはたした。

山陽特別銅の倒置、山一證券の「取り付け」といえるべき状況に見られるように日本経済は信用恐慌、本格的な不況へつき進んでいる。対内的には、合理化、質下り物価値上り等の国民収奪の強化

去る六月四日、京都において、関西三府県学連統一行動がもたられた。神戸大学の不参加にかかわらず、京大二百、立命大二百、同大八百、京工大二百、阪大七百市大四百、東工大四百、和歌山大、滋賀大、岡山大、奈良女大等、合計八千五百名女によって、円山音楽堂がうづめつくされる中で集合はじめられた。各大学が自治会期、フラカートを先頭に会場に到着する度に拍手の嵐はしばしば鳴りやまず、途中からの降雨にかか

わらず、関西学友の友情と連帯の熱気の中で集合は続けられた。

各府県学連の開催の報告、各大学の報告の後、北國の報告、米軍のベトナムから即時撤退せよ、佐藤内閣のベトナム侵略加担反対、安保撤廃日本の中立を、文政省大学設置基準反対、掲げられる人間性

粉砕、平民「全学連」との統一行動を、社共統一行動の即時再開を、日韓会談粉砕、牛乳、フロイド價上げ反対のスローガンを圧倒的多数で確認し、その後国際学連議の

ひびきを、京都府学連、大阪府学連の順でデモに出発した。途中京大、同大等社学同系諸君に指導された千名の学生は、クザグデを行ない、市大では、社学同系諸君の指揮者に従ひ優勝手な行動で混乱させたが、圧倒的学友は、手にプラカードを持ち、二度フランス式デモを成功させ、整然たデモを行った。

東本願寺前、各府県、各大学毎に集会をもち、六、九に更に戦つてことを確認した後、八時ごろ解散して、この巨大な闘いの日に、その巨大な闘いの日に、統一を拒んだかである。そののみか、京大等においては、学会によるストライキ決定を無大会という等公然たる妨害活動さ行つた。

六・四関西西学生集会の成果上に、学生組織の統一（全学連）社会党共生党、労働組合、あらゆる民主団体による、全国的全人の共同闘争を実現することこそわれわれがかちとらねばならないのである。

日韓調印へ急転・深まるベトナム危機

戦争と民族抑圧反動 佐藤内閣に反撃の矢を！

日韓調印へ急転・深まるベトナム危機

張 主

(二)

緊迫したベトナム情勢、それは資本主義世界体制の激動する再編過程的政治的に集中された表現であり、資本主義世界体制の全般的危機の第三段階の新たな局面への移行、世界政治舞台における新たな力関係の編成を印す世界史的事件である。

義世界への侵略的攻撃である。再度確認しよう。米帝國主義による南ベトナム侵略は、今や、米中米ソ戦争の危機をはらむ中で行なわれ、一刻のゆるぎもない事態にあることを。

国内においては、佐藤は戦後最大の反動内閣といわれる体制を確立した。ベトナムにおける民族抑圧と戦争の最大の加担推進者として

えた無尽層の融資、設備拡大は金
利高と在庫増大をもたらし、独占
にとつては致命的な利潤率の低下
をもちあはしてゐる。

一層の融資（山一を見よ）によ
る矛盾の爆発の引き延ばし、企業
減税、不況産業の放置（山野炭鉱
を見よ）による利潤の確保、少数
の巨天資本の育成、他方合理化的
風による官切り、賃金ストリップ、
に無条件に統を要請している。

二民族抑圧と戦争政策を阻止し、
憲法改悪阻止、安保破壊、中立百
本を実現し、国民生活の向上をか
ちとめることである。そして参院選
を佐藤内閣との対決の場合とし、そ
の政治的社会的基礎を根底からゆ
るがきねばならない。そしてそれ
を果したる得るのは雷府市民的同
共闘争のみである。情勢は我々
に無条件に統を要請している。

土庫平民（全学連）再建
いて我々は①それが民学連の上
イコットル分裂路線継承の上
弾き入れ②全学連十四回大会臨時
加盟校二十四のうち、加盟、未基
盟を意識的に無視し二七自治会中
で進行し、全国八〇自治会中
割にも満たず、③参加代議員に
いては学生大会、自治委員会の上
定ではなく非民主的資格審査に

にかかわらず、平民「金孝連」との組織の統一の可能性を最大限に確保するために、全国的政治闘争の共同闘機関としてのみの性格をもつ原日共闘会議の民主的強化強化と、多面的、包括的活動を保障する機関としての戦線分野別会議の開催を呼びかけ、分裂の固定をもたらす第一金孝連コースを弾固退けた。

第二に、平民「金孝連」のよ

主張

配体制)の崩壊にみられる米帝國主義の相対的地位の低下、世界的規模での構造的過剰生産の中で、帝國主義諸國の対立、再編は熾烈を極め、米帝國主義はドル危機への協力体制を自ら得なくなっている。自らの矛盾の後進國への集中軋軋、これが現局面で米帝國主義のとり得べき道である。

即ち政治的獨立を獲得した植民地を國內の反動勢力と結託し自らの植民的市場として維持することは帝國主義の利潤の確保のため一層必要となっている。植民地収奪への人民の反抗は歴史的必然であり、南ベトナム民族解放戦線の英雄的闘いに、米帝國主義は追いつめられた侵略者に残された唯一の方途、狂信的武力貫徹の強化で自らの侵略的企圖の貫徹を計っている。またベトナムにおける敗北が植民地支配体制の崩壊を過渡的に速め、米帝國主義の決定的後退をもたらすゆえ、必死となっている。そして北爆、冷戦体制の深化、局地戦は南ベトナムでの武装強化の「最良」の条件の構成であり、同時に自らの最大の敵社会主

の反動路線は「二に」となるものではない。憲法改悪に至る國內反動政治支配体制の確立、米帝國主義の植民地支配体制の崩壊の中でアジアにおける民族抑圧と戦争への最大の支柱として自らの地位を確立するところこそ佐藤の反動路線である。日韓本調印への急進な展開のうちは、S.E.A.O 崩壊にかわるN.A.A.O 結成、軍事侵略の強力な布石が、原潜、度寄艦承認のうちは當時香港体制の確立、核武装化への布石が黒い霧中に明確にみられる。そして、略行動計画Ⅲ「三天計画」は完ぶる佐藤の本質的姿を示している。そして佐藤関の政治反動を根において規定しているのが高成長策から「安定成長」への転換という日本資本主義の転期、諸盾の顕存化の中で徹底した独占利潤の擁護である。高成長政策における無計画な設備投資は全工部門をおろつ構造的過剰生産、格的不況となつて今あらわれている。金融機関、国家財政の無計画な融資は今、信用恐慌となつてあらわれている。過去、高成長を

て本格的海外市への進出。日韓学生戦線に課せられた任務は第一、条約はその合法的承認の強制。ここに全国学生会による「全学連」を以て佐藤の経済政策であり、予想される国民の反政府独断の気運、実現し、全国的統一行動をかちとり、全国的な大人民の共同闘争の針が矛盾するゆゑ、我々の働き

自治会地方学連の組織的統一の回復、

「全学連」加盟をかちとり、全国

による真に闘う民主的全学連

行動の弾圧体制が反動政治である。大学にあつては、授業料値上げ等学生生活への攻撃と大学教育の危機といわれる教育の反動化としてある。

再度確認しよう。今や佐藤内閣は戦後最大の「平和と民主主義、よりよき生活」への攻撃の敵対者として国民、学生の前に立ちだかっていることを。

(一)

国際反帝平和民族解放の闘いの一貫として日本国民に課せられた任務は佐藤反動内閣と全面的に対決し、本格的帝国主義的海外進出

先進の一翼を担ふことである。第二に「大学の危機」の進行の中にあつて、学生生活の擁護と民主的教育の確立、大学の民主的改革のための運動を全国的に展開することである。しかし、我々の闘いは今だ全国的政治闘争として感ぜられていない。慶応大、近大、長崎大などの努力がそれである。我々反民書統一戦線全学連を意図してトロツキスト諸君の全国共闘結

けによつて行動の統一の中心軸成り得ることを確認した。この点において我々の原則的立場とし得たことは分裂の固定、拡大阻止と統一の追求であつた。すわち原日共会議と平民「全学連」との行動の統一の実現。全学連再建への我々の主張とその実現のための努力がそれである。我々反民書統一戦線全学連を意図してトロツキスト諸君の全国共闘結

のセクト的野望。第一全学連「スを粉砕し、そして、また、その組織的連合体でないが故に近なる学生運動の任務を十分に果

して認め得なかつた。しかしそれが全国学友の統一の要求を「映し」、全学連規約と平民分裂針が矛盾するゆゑ、我々の働き

(三)

反 緊迫する世界情勢、国内反動政
(四) 勢といつ情勢の急激な転換に各政
か 治潮流は様々な対応を示し、学生
平民 二二

全自治会

を實現しよう

戦線は過渡期の流動状況の様相を
に 一層濃くしていったが、その基本
時 的動向は次のよつてであつた。

第一に、原簿日韓共闘会議の限
の 界性の顕在化である。即ち情勢は
な 活動の全国性、多面性、包括性を
連 要求し、それは原日韓共闘会議の政
連 治的共闘機関としての性格の粹で
成 は、戦線、野別会議といつゆるや
の かな組織には対応できぬことを明
た 確にしていった。また政治的共闘
成 機関としての機能も、平民学連が
二 全国的政治闘争を展開しなかつた
一 時点において、都市の拠点闘争で
また あつたが、それは全国闘争を代表

以上の情勢の基本的転換の
あつて、我々は不断の統一の
とう原則的立場から、平民
学連に加盟すること、そし
の分裂路線を規制、粉碎し、
積極的内容の強化、拡大をか
り、真に闘つ民主的、大衆的
連を實現することこそ現段階
ける統一實現の方向であるこ
る。しかし、その前提として
的に承認されなければならぬ
とは第一に自治会、地方学連
ける組織の統一の回復、第
連の解散、単一都学連結成、
に批判の自由と行動の統一の

ある。

(五)

自治会地方学連の組織的統一の回復、平民

「全学連」加盟をちとり、全国全自治会

による真に闘う民主的全学連を實現しよう

と民主的運営
らの承認のな
して行動の統
はない。それ
の上での統一
そのセクト的
や直ちに実現
我々は依
連の結成誤
問と批判を
ためその点で
我々は平民
一のための討
のための全国
をよびかける
的統一の平
めの統一し
びかける。
最後に、
の地方学連
民「全学連
語ることば
度とともに
に考えず、
諸君のセク
そしてわ
なく、それ
一の事業、
実現のため
果たしてい
全国の学
一の事業に
を強く呼び



市大再建派 (民学同系) 勝利する

阪大工で圧勝
— 各大学選拳から —

教養では圧勝

市大自治会

【干支之鏡】 第四回金平自治会
中央執行委員選挙の結果、わが同
盟をの中核とする再建派は主流
派（社学同系）、金平連統一派
（民青連）、革新グループ（平社
同系）を合わせ、八名の当選者を
明確にみられたのである。即ち
主流派の凋落、再建派の顕著な伸
長、金平連統一派の一定の伸張が
それであり、市大学生運動の中核
を成す教養において、とりわけ鏡
形であられた。

今孝区(定員十名)では、五名の立候補者は高位当選(一、二、四、五、七位)を勝ちとり、学部区(七学部、定員各学部一名)では、文、理工学部で優勝、商学部ではじめて勝利した。経済学部で八となっている。

七票零、指敗し、絶対多数を占めることは出来なかったが、主流派六名(幸学部四名、経済家政学部二名)、全学連統一派一名(全学区二名)、革新グループ二名(法学部区二名、無所属一名(医学部)で相対多数を確保し、今年度自治会活動の指導部隊として全学の前に登場した。

主流派の利用主義的學生運動と街頭極左戦術、自治会民主主義の形骸下、市大學生運動の伝統の破壊により、政治的無関心層が増大する中で、再建派は「統一と民主主義の旗の下、市大自治会のルネッサンスを築こう」のスローガンを掲げ、学友に大胆に市大自治会の再建の必要性を提起し、五、二

今遼率にみられた特徴は、全国学生戦線の情況、とむわけ関西におけるその反映が市大においても底的に批判するだけでなく、再建

大学大で民青に勝つ

共青との統一選挙で

【大学大支部賞】学大天大寺にお
いては、自治委員選挙が終わり、
平民系自治委員の進出を、六十三
名中、十五名以下におさえ、共青
との統一選挙体制の確立のもと庄
倒的胜利をおさめた。

当初、平民系のかかりのびが
予想されたが、前執行委員会の取
つてきた正しい方針と全面的タ
ラシ討論の開花の前に、彼らの分
裂主義的方向が、幸友に明確にな
り、彼らの大衆的な基盤のなさが
再び証明された。

なお、執行委員は、自治委員会
う。

平和委員会が、前先生等を招
いて「平和講座」を開き多数の学友の
参加を勝ちとり、学友に正しい平
和の要求と平和運動のあり方を示
したため、幸友の中に層として
平和の問題、民主主義の問題、行
動する基盤と、それを基礎とした
正常自治会運営の可能性をみ
出した。

現在、民学同盟と中心として
自治会機能の回復と再建のために
活動しており、その成果も選挙等
通し大きく勝ちとられるところだ

名籍任務、執行委員、議決等が活発に討論され、任務方針二百三十一、執行委員（民學）同系二百七十八等で承認、信任された。

学生天会の成立は、昨年の春、第七回大会に続く度自で、各クラスの代議員を先頭としてのクラス討論、現在の内外のきびしい情勢を反映したものであつて、

とくに移転と工学教育の問題では、民書系が何ら対応できなかった方針すら出さず、金學連問題でも、具体的に彼が行動の統一

しか六月三日に開かれた学生大会が不成立のため、二十日現在金學投票中である。多数は信任される模様である。

他の各学部

法学部、文学部は民學同系、熱心委員が圧倒的多数、信任された。

医学部も、インター斗争の方針の正しさに、民書系が左から孤立し、民學同系熱心委員が圧倒的多数、学友の支持を得た。

理学部、薬学部、経済学部も選挙進行中であるが、いずれも民書同系が圧倒的勝利を納める模様。

（反大支配部略）

阪大各学部で続々勝利

守り、拡げていくには緊急に学生運動の全国的統一が心要とされていることの反映を示しているであらう。

三年に亘る主流派に對り、ここに再建派が絶對的にでないにしろ広範な學友の支持のもと登場した。(委員長、書記長、五名の担当責任者中四名が再建派) このことによつて開かれる可能性は困難ではあれ極めて大きいものであらう。

第一に、主流派によつて破壊されてきた市大學生運動の再建と強化のための橋頭堡の確立である。第二に、民衆系諸君のあくろつた分な裂活動に對し、府學連の強化でなく、批難に専念してきた主流派にかわり、市大自治会が府學連統一と強化のための強力な部隊として出現したことである。そして第三に、これらの上に立つて、全国全自治会を包含する真に闊うた學連實現のための先進的翼として市大自治会が登場したことである。

主流派、統一派を市大學生運動から大衆的民主的に完全に放逐し、新たな學生運動の昂揚の中で、その中核存在として位置すること、最大の課題として、一層の先進的、獻身的活動を強化することが、市大支部の任務であらう。

九国民行動の日

文化人の要請ふみにじる民青

臣て十数万人が決起

ナム侵略反対
雲南各地で十数
回の、日本政府の戦争協力反対等
のスローガンのもと行動に参加し
た。

大阪、京都でのとりくみは以下
のようであつた。

各大学で教習学生集会
——大阪府学連——

連規約の順守
際である。これ
原則の統一は決
保障するもので
この原則の確立
民「金宇連」を
を放棄するや否
ものである。
「平民」「金宇
について重大な難
しか、統一の
を辞さない。

この日の行動は、アメリカのそれへの
トナム侵略、日本政府のそれへの
協力に反対し、積極的に抗議聲明
や行動を起こし、この知識の呼
びかけに応じたりくまれた。
去る五月十二日、岡部知一、中
野好夫、小林直樹、野上茂吉郎、
日高六郎氏らは、トナム問題の
ベトナム人民による解決、ベトナム
の平和と独立の確立、②米軍の
北撤、南ベトナムの軍事行動の即
時停止、③非人道的兵器の持ちこ
み、使用反対、④平和憲法の不戦

大阪府学連傘下の各自治会は、
日、ベトナム問題にかんする学内
集会の成功をもちとす。市であ
は、全学自治会結成以来はじめて
個人の資格であれ学長からアピー
ルが寄せられ、二部自治会（民書
系からメッセ）がよせられた。
教職組合との組織的共同行動は
実現なかったが、千数名の教員
が五百名の学生とともに集会を
した。五時から府学連集会に、
百名の学友が結果し、学生運動の
早急な統一の必要性を確認し、社

學連」中執と統
のをもつに統一
会代開催の実現
青葉諸君に組織
學連」加盟のた
學連の開催をよ
た。

の精神に従ひ、ベトナム、フィ
の戦争行為に日本政府はいささか
の手をかはしてはならない、の四項
目を、さまざまな意見の相違をの
りつゝえた共通点として二日の共
同行動」をもつことを政党、労働
組合、あらゆる人々に呼びかけ
た。

会党 総評主催の集會に合流と
しかし、文化人の呼びかけをし
みについた形の社共両党のセマ
ト主義、府學連の統一の呼びかけ
にかかわらず、平民第二「府黨
連が別個の行動をつたふこと
参加者はききな不備と統への時
い要求がでてきた。

これは民青系諸の分裂活動を平極の内容のみを随うセクト的態の転換を真面目方針に固執する度を批判する加盟によって

六・九全国統一行動はそのおひかけにに応じてとりくまれたもので大阪、京都では、社共の統一行動は実現されなかったが、東京をはじめ全国では二日共闘であつた。一九六三年九月以来はじめて社交の統一行動が実現された。

この日の統一行動は、今必要と

目にあまる民青系諸の分裂行動

— 京都府連 —

京都では、民青系諸君の分裂活動はりわけににあまるものであつた。京大では、同友会の失策人統集会の提案を、方的に破壊し、我集会に参加しようとして

う安易な態度で、
とし、困難な統
う民主的の李連
としての任務を
つ。
、偉大な統
を傾主すること
され、
の第一歩としての意義をもつてであつた。とりわけ、六・四全開
西学生統一行動の圧倒成功によつて
その先進の一翼を担つた学生
戦線は六・四の成果の拡大、「全国
の全人民的共同行動の表現のため
共に起ちあがなた。かし、民青系
諸君の分裂行動は目にあはるもの
である。一つは、「学生連」の他の
入口でヒケを張つて阻止しよう
と、「自治委員会決議で参加した左
治会の発言を許さなかつた。
とりわけ巴山の京都府民集会
参加しようとした学生を「金堂
連」のハチマキをした学生が暴
的に追いかせつとして、そのつ
アッショクともいへる、「トナリ

現執行部信任さる

京工織工芸 民青のびる地盤なし

【早稲穀大発表】工芸学部自治会選挙は、一日に公示され、九月から十一日の期間に投票され、執行委員候補者九名全員が信任された。

八名の執行委員は、昨年及び四五月の活動に基づいて立候補し、それが金友友に支持されたものである。なお、民青は、昨年大衆的な活動はほとんど行なわず、学友に基盤をもっていないところから一人しか立候補することが出来なかった。

この選挙を通じて言えることは、現執行部が、自治会活動を各クラスに根をもち、徹底的なクラス討議を支えられぬものにするために行動したことが学友に認められたのであり、ベトナム、日韓を中心とした平和の問題、学芸統合を通しての教育、厚生施設の問題、学芸祭とサークル充実の問題、学生運動、とりわけ京都の地における行動の統一の方向等具体的課題を大たんに学友の前に提起したことが、自治会の権威と親睦をさらに高めるものとなったといつてあつた。

東京学生運動の再建統一の決意固く

中大に支部結成

分裂と低滞がもつともひどく、東京の学生運動の中にあつて、中大の同胞に課せられた任務は困難かつ重大であつた。

先進的、献身的活動を確信し、ここに、中大支部のよびかけを全国学友に届ける。

よびかけ

運動の分裂がもはや日常感覺すらむしばんでいる東京の学生運動の「沼地」の状態にあつて、我々は統一と民主主義の旗の下、単一学生同盟への道をめざし、首尾一貫した大衆的活動の「陣地」を築きあげようとしている。

戦後民主主義闘争の第三転換期の苦悩のもつとも深い集中的表現を我々は味わなければならぬ。

東京学生運動の再建統一の決意固く

中大に支部結成

型の学生運動の指導部修の出現をもつとも強く要求している。

中大において、我々は要求獲得運動（食堂、生協、学館）を基点とする学生生活の向上と大学の民主的改組のための先頭に起つてゐる。我々は全国の全人民的統一闘争の一翼を担ひ、日韓ベトナム闘争を中大における中核として闘つてゐる。

我々が東京の地において点した二筋の光はさらに反射光をよびおこすであつた。中大支部結成に際し、全国の同盟員諸君に、限りない連帯の挨拶を送る。

全国学友、なかんづく中大学友諸君に我々と共に闘つことを呼びかける。

平民「全学連」中執と 一のための話し合いを 自連執委、立命学友会、神大中執

一九日、大阪大学自治会連合執行委員会、立命館大学一部学友会神戸大学全学連自治会中央執行委員会学生戦線に組織的統一「全国全自治会を包含する真に闘つ民主的金学連実現のため、平民「全学連」中央執行委員会と早急に話し合いをもちとり、そこで統一のための五項目にわたる提案を行い、完全な一致がもちとられた際には平民「全学連」に加盟するよう、全国の自治会に呼びかけることを決定した。そして全国の自治会が直ちに提案内容について検討し、積極的に実行し、ともに平民「全学連」中央執行委員会との話し合いを実現するよう努力することを強く呼びかけることを決定した。

提案は次の通り。

一、批判の自由と行動の統一を順守し、学生運動の統一的發展を追求すること。

二、全学連規約を順守し、民主的運営を保障すること。

三、関西三府県学連の組織的統一

(ロ) 大阪府学連 八回大会で組織統一を実現すること。

(ハ) 兵庫県学連再建大会の成功を回復すること。

(イ) 京都府学連三回統一大会で統一を実現すること。

平民「全学連」中執と統一のための話し合いを

阪自連執委、立命学友会、神大中執

民主主義學生同盟
第4回全國大會
報告・決定集

- 趣意、規約
- 転機に立つ内外情勢とわが同盟の任務
- 一般政治方針
- 大学の危機と
その克服の方向
- 資料

全国学友へのアピール
ヘルシンキ大会よりびかけ

150円